

平成二十一年（二〇〇九年）五月二十六日 ブラック・ホール

神から人へ、人から神へ。

遠き宇宙の 銀河の果ての、宇宙の始めに広がりし、全ての元なる根源は、今も遙かに広がりて、宇宙全てに遍満し、この世を覆い、時空を超えて、物質次元にとどまらず。

神の意識が 形となり、物質次元に凝り固まりて、地球も星も太陽も、意識を表わす 一部なり。なれば宇宙は 神の意識が、全てに宿れる 空間なり。

そこにて起こる 全ての事象は、神の意思をば 体現す。

宇宙の空間、その中に、突如現わる 暗黒の穴。

そこには宇宙の発展に、役目を終えし 素粒子、光子、不要となりし物質の元、

全てが穴に吸い込まれ、浄化の後に、再び 現わる。

宇宙の高き次元には、物の移動は自由自在。消えるに見えれど、さにあらず。

形を変えるも変幻自在。素粒子となり、光子となり、新たな力を、息吹きを受けて、宇宙進化の源となる。

宇宙はさらに進化を遂げて、地球次元の物質を超え、意識を高めていくほどに、物質次元を脱するなり。

意識の次元が高まるを、霊性進化と呼ぶなれば、高き次元の霊性は、物質次元に縛られず、

神の意識と一体となり、宇宙の進化に同調す。

暗黒の穴は、宇宙の彼方、遙かに遠き 所にあらず。

宇宙を汚す 元なるものは、神の意識を 外れしものなれ、

神の意識を顧みぬ、物質次元に惑わされし、低次の意識を高めむために、意識の一部を変える要あり。

物質次元の魂は、宇宙進化に遅れるままに、進化を妨ぐ虞あれば、浄化のために、吸い込まれむ。

意識の低き魂は、物質次元のままなりて、やがては汚れとなるものなれば、浄化の仕組みが働かむ。

宇宙に無駄なるものはなし。無駄なるものは、浄化され、再生されて、甦らむ。よみがえ

宇宙も一つの命なり。せいせいでん みよう  
生々流転の妙なれば、命は形を変えつつも、変わることなく生き続けむ。  
古きものは新たまらむ。

意識の次元を高めつつ、進化の成就に 貢献せむ。じようじゆ

宇宙意識は、神の愛。天地万物、全てを化育し、全てに神の意識は宿れる。かいく

神の意識の宿らぬはなし。

人の多くが、葬りし、意識の奥底、御魂の記憶に、眠りし意識を 目覚ませよ。ほうむ

高次の宇宙に、同調せよ。

物質次元は、まだ低し。物質次元の粗き波動に、御魂を曇らせ、鈍らすなかれ。あら

高き波動の御魂となりて、自ら宇宙の浄化に寄与せよ。みずか

宇宙の意識は呼び掛けむ。御魂の奥に眠れる意識に。

神の意識を呼び起こさむと、宇宙の意識は言霊となり、御魂に波動を 送るなり。

人にも次元は様々なれど、高き波動は広がらむ。

低き波動を凌駕して、必ず地上の波動を高めむ。りようが

気づき目覚めし者たちは、己の波動をさらにも高めよ。

神の言霊、祈りの言霊、それを怠らず、忘れずに、御魂の波動を 日々に高めよ。おとれ

そこそが、今の地球にとりて、最も急務の 救いとならむ。さにて。